

国際親善・交流

青少年赤十字の実践目標の一つである「国際理解・親善」のもと、国内外のメンバーが人道的な価値観に触れることで、青少年赤十字活動を活性化させ、さらには、将来の赤十字運動を推進する人材の育成をねらいとしています。

主な活動

● 日本赤十字社北関東三県支部（茨城・栃木・群馬）国際交流派遣事業

青少年赤十字の実践目標の一つである「国際理解・親善」の具体的な活動の機会として、毎年、県内の中・高校生メンバーと指導者を海外の赤十字（赤新月）社に派遣しています。

派遣メンバーは海外赤十字施設の視察や現地メンバーと交流し、今後の青少年赤十字活動に活かします。



● JRC/RCY International Meeting（青少年赤十字国際交流事業）

アジア・大洋州の国々と地域からやってくる青少年赤十字・赤新月メンバーと、日本全国の青少年赤十字メンバーが集い、災害、紛争、貧困、衛生、教育などの問題について意見を交換し、理解を深めます。

この事業は、2年に1回実施しています。



● 一円玉募金

学校内で集めたお金を、日本赤十字社を通じてネパールやバヌアツなどの国へ送る事業です。

募金は、現地の子どもたちの文房具やスポーツ用品の購入などに使われます。

一円玉でもみんなで集めると大きな支援ができるという意味で、「一円玉募金」という愛称がついています。



特徴

赤十字のネットワークを活用できる

赤十字は世界190か国以上にあります。

日本赤十字社は、赤十字のネットワークを活かして世界と交流します。

学校の枠を超えた交流ができる

赤十字活動を行う学校の児童や生徒同士が交流します。日本と海外の青少年赤十字加盟校が集まるので、幅広い国際交流ができます。

赤十字基本7原則を共通理解として活動

赤十字基本7原則は世界共通です。共通理解のもと国を超えて交流を行います。

